いわむろ

発行所　岩室村役場　　No. 23
印刷所　巻・北洋印刷KK

春の眼

春の眼を鏡に写して，じっとみつめると，血走っているのがわかる。これは，1.春先には結膜炎が多い2.ビタミンB_2の欠乏（B_2は日光紫外線に弱くすぐこわされる）3.長かった冬ごもりからさめて，心がウキウキと不安定になり，そくの心ボと外の活動がふえるので，指先でこすると結膜炎になる。以上のような原因があるので，春先にはビタミンB_2をとり，心をおちつけ，手洗いの回数を冬より多くして手指を清潔にしておきましょう。

村議会議長に選任されて

本間議長　　横山副議長

本間　十郎

◇…一月二十八日行なわれた選挙で当選した、…◇
◇…議会議員の初議会が二月十四日開かれ、正…◇
◇…副議長及び常任委員を決定した　　…◇

今回岩室村議会の改選にあたり議員諸賢の御厚情により議長に選任下さいましたので、一こと申し述べたいと存ります。

選任をいただいた上は、その任に献身精進のつもりでありますが、思いますに何分にも浅学非才、一介の野人にすぎない私のことで岩室村は今や合併四年の静観の時をへて、ここに教育、産業、村民の福祉、観光とあらゆる面で建設への強力な一歩前進をはかるべき時が到来して居るのであります。

私は慎重に佐藤村長の企画、経営を十分検討の上協力申す他、議会の運営にはかたく中正を守り是は是、非は非と議会の融合協和に努めて、明るい住みよい岩室村の建設に邁進したいと覚悟しておりますものの、

住みよい郷土を造るために

人間生活は個人々々の健康の上にきずきあげられるものであり、健康であることと自体が立派な財産であるといえます。

この健康を確保するために、病気を防ぎ心身の能率の増進や、寿命の延長を図るしごとを公衆衛生と呼んでいます。

この仕事は個々の人間や家庭だけで達成されません。

町や村、部落など地域社会に住む人々の組織的な協力と活動によって始めて達成されます。

公衆衛生をすすめて行くには、色々な方法が考えられるが、その中で皆んなが最も希望しているのが蚊、ハエその他衛生害虫をなくする仕事である。

〃衛生害虫〃はただうるさくて、きたないだけの存在である。

こうした衛生害虫を徹底的に駆除することによって、伝染病を防ぎ又日常生活が健康的で気持のよいものとなり、更に広い範囲の生活改善へのたくましい発展への足がかりになると思います。

今の世の中では自分だけの努力で自分の健康を守り通すことはできません。

みんなが正しい理解をもって、日進月歩の科学と技術を充分にとり入れ、力をあわせて実践することによって始めて健康で明るい生活が私達のものとなります。

これが公衆衛生であり民衆組織活動と呼んでいます。

ハエ、カ、ゴキブリ、ネズミ、その他の衛生害虫をなくすれば、住みよいばかりでなく、赤痢、小児マヒ等の恐しい伝染病を防ぐことが出来ます。

それにはまず
①発生源をとりのぞく。
②取りのぞけないものは改善する。
③管理（掃除、手入れ等）をよくする。

ノミやシラミの駆除は現在殆んど成功しましたが、カやハエが簡単に駆除出来ないことは、その発生場所が屋外にあるためで、薬剤の屋内撒布に併行して家屋周辺の屋外発生をおさえることは成虫駆除に併行した、幼虫対策と同様に重要なことで、一ケ月に一回の屋内残留フンム（成虫）に対し月二～三回の屋外駆除（幼虫）を行なうことが最も効果的であり、かつ理想的といわれています。

岩室村でも国体の年でもありますので徹底した駆除を推進したいと思います。

お互いの幸せのため、一日も早く明るく住みよい岩室村にするため、村民各位の協力をお願い致します。

議会人事は次の通り

議長　本間　十郎
副議長　横山喜八郎

総務文教委員会
委員長　田中　高蔵
副委員長　本間　寿む
委員　鈴木　茂
委員　相田庄次郎
本間　伝蔵
池上　友一

社会土木委員会
委員長　大越　幸平
副委員長　中村　敬宇
委員長　中村長太郎
委員　樋口　栄作
山上　一夫
寺沢多佐雄

農林水産委員会
委員長　菅井秀千代
副委員長　山本芳太郎
委員　竹内登三郎
大岩　安平
堀越　信一
藍沢　祐三

観光商工委員会
委員長　堀越与志男
副委員長　五十嵐寛一郎
委員　岡崎　雄平
池上　源蔵
田中　一郎
田島　甚七

監査委員　本間　伝蔵

国保運営協議会委員
委員長　中村長太郎
副委員長　池上　源蔵
委員　本間　寿む
山上　一夫
五十嵐寛一郎

巻町外三ケ町村衛生組合会議員
岡崎　雄平　中村　敬宇
山本芳太郎　寺沢多佐雄
相田庄次郎

公民館運営審議委員　大岩　安平

社会教育委員　田中　一郎

国民年金

二十才になったら忘れずに届出を

国民年金は保険料を納めた期間によって年金が支給され、あなたの生活を保障する制度です。

会社や工場で厚生年金（職場保険）等に加入している人を除いて全部が国民年金に加入しなければなりません。

新らたに二十才になった人は忘れずに区長さんや支所、又は厚生課へ二十才になったことを申出て資格を得て下さい。届けを受理すると直ちに国民年金手帳が交付されます。

また二十才以上の人でもまだ国民年金に加入してない人や、会社、工場をやめて職場の保険をやめた人は国民年金に加入しなければなりません。

国民年金は全部が何れかの年金制度に加入して、災難を始め老後の生活を保障する制度ですから、現在用がないと思っても将来必ず必要になってきます。必要を感じ始めてではすでにおそいのです。二十才になったらその月からです。

まだ加入してない人は急いで資格取得の届出をして下さい。